

夢の教室 ~ J F A 心のプロジェクト「**DREAM** 夢があるから強くなる！」 ~

昨年度に引き続き、10月27日・28日、5年生を対象に「**夢をもつことの大切さ**」「**仲間と協力することの大切さ**」を伝えようと、夢先生が来校し、夢教室が行われました。

夢先生：森山 泰行（もりやま やすゆき）先生

岐阜県出身。高校サッカーの名門・帝京高校から順天堂大学を経て、1993年に名古屋グランパスエイトに加入。FWとして抜群のスピードと瞬発力を武器に、高い決定力を生かしてゴールを量産しました。1997年にはその活躍が評価され、日本代表にも選出。1998年にはベルマーレ平塚（現：湘南ベルマーレ）に移籍、シーズン途中にはスロベニアリーグの強豪・ヒット・ゴリツァに加入しました。その後は、サンフレッチェ広島、川崎フロンターレ、コンサドーレ札幌でプレーし、2004年に名古屋グランパスエイトで引退を表明。しかし、Jリーグ入りを目指す地元FC岐阜に賛同し、2005年に加入しました。J2昇格に貢献するなどチームを牽引。2008年シーズンを最後に、現役引退を決意しました。



アシスタント：法師人美佳（ほうしと みか）先生

東京都出身。日本体育大学在学中の2001年にユニバーシアード日本女子代表に選出され、同年に開催されたユニバーシアード北京大会に出場。大学卒業後の2004年にさいたまレイナス（現 浦和レッズレディース）に加入しました。148cmと小柄ながら豊富な運動量とタイミングの良い前線への飛び出しでMFとしてプレー。加入1年目から公式戦11試合に出場するなど活躍しました。2009年にアルビレックス新潟レディースに移籍。2010年のシーズン終了後に現役を引退しました。



前半：ゲームの時間（35分） 体育館で、体を動かしながら、グループで一つの目的を達成するゲームや競争を通じて、目的のために協力すること、相手を思いやる心やフェアプレー精神を、実技の中で気づいてもらう時間です。



「ボール取り」「だるまさんがころんだ」のゲームで汗を流しました。「だるまさんが…」は、法師人先生がボールを投げ上げたり、ついたりしているときに、動いてもよいというルール。始めは一人、次は6・7人のチーム、最後は学級全員が手をつ



ないでのゲーム。作戦会議で、ボールが離れるのを集中して見て、ゆっくり進むことにしました。「**ルールを守る**」「**力を出し切る**」「**仲間のことを考えて協力する**」を学びました。

後半：トークの時間（55分） 教室で、夢先生が「夢曲線」を使って、これまでの体験を話し、児童とともに夢について語り合う時間です。

Jリーグ時代のゴール・シーンを観た後、「みなさんが**将来の夢をもってもらうために**」とお話を聴きました。

生まれたときから、野球選手が夢でした。しかし、小学校1年、仲のよい友達に誘われて初めて蹴ったボールがゴール。ゴールネットを揺らす感動、仲間の喜びが、サッカーを好きにさせました。6年のときは、全国大会に出て、強いチーム、うまい選手に出会い、それに負けたくないと思いました。サッカーの名門中を選び、15歳のときに全国3位になりました。15歳以下の代表として、アジア大会に出場しましたが、サウジアラビアとカタールに破れ、世界の広さと強さを知りました。今以上にがんばらなくては…。一番になりたい。一人で上京し、帝京高校に進学しました。新入部員は130人。部員ふるい落としのための苦しい練習、いじめ…。残ったのは、たった18人でした。やめていった者の中には、自分よりうまい選手もいました。自分が残れたのは、「サッカーが好き」という気持ち、苦しさより勝ったから。ここでやめていたら、今の自分はなかったでしょう。高校で力を出し尽くし、もてはやされ、大学では無気力となって練習ができない時期が6か月もありました。大学3年のとき、ウルグアイに留学し、クラブの前に集まる皆さんくらいの子どもたちに出会いました。布を張ったような家に住み、食べる物も満足にない生活の中で、クラブ入りしてサッカー選手になることが、唯一の夢なのです。この子たちを見て、自分の今の姿がはずかしくなりました。これを機に練習に打ち込み、日本代表入り。大学では日本一、得点王と活躍できました。Jリーグが発足し、22歳で名古屋グランパスに入団。しかし、両足首の手術となり、6か月間プレーができませんでした。今でも両足に人工じん帯が入って



皆さんには
夢をもっ
てもらい
たい

僕の夢は…
実現のために…



います。好きなサッカーができない。大きな挫折でした。そのときから、健康管理を徹底し、体作りを始めました。そのおかげで、35歳までプレーをすることができたのです。そこで大きな夢をもちます。地元岐阜にJリーグチームを作ること。3年目のJ2昇格をかけた最終戦は、7-0で勝つことが条件。試合は後半残り20分で、あと3点が必要でしたが、3点を取りました。しかし、ロスタイムで、相手のPK。ポストに当たり、劇的な幕切れとなりました。選手兼コーチとしてやってきましたが、39歳で引退しました。最後の夢は、世界に通用する選手を養成すること。S級ライセンスを2年前に取り、今は出身高校でコーチを務めています。

皆さんには「**がんばる**」「**あきらめない**」「**つづける!**」の言葉を贈ります。今、ふり返ってみると、一人の力では何もできなかったことに気づきました。家族、仲間、サポーター…。身近にいる**自分を支えてくれている人たちに感謝すること**を大切にしています。